

たばこを吸わない人が提出した「脱タバコ社 煙を求めている。

安心して生活できる、その会の実現に向けて」とい
して吸う人が禁煙しやすう要望書であり、もう一
い環境へ。たばこは健 つは神奈川県が受動喫煙
康を害する商品である による健康被害から県民
が、多くの喫煙者はニコ を守るために目指す「公
チンへの依存のために容 共的施設における禁煙条
易に禁煙できず、吸い続 例」制定への動きである。

喫煙による健康被害を事
例」制定への動きである。 喫煙による健康被害を事
部住民健康フォーラム」
を開催し、煙のない日本
一きれいな空気と美しい
都市づくりを提言し、住
民が健康で安心して暮ら
せる煙のない未来を目指
している。

医学界では常識
になっている受動
喫煙による健康被
害を無視して、分
煙を勧めようとす
るたばこ産業は謙
虚にこの事実を受
け入れるべきである。

中部医師会では、「中

煙のない未来を目指す

11.19

今、このたばこの煙が、
喫煙しない人にも喘息発
作や心筋梗塞の誘発、癌
の発生など多くの健康被
害を及ぼすことが明らか
になり、たばこに対する
考え方が大きく変わりつ
つある。

これらの動きでは、J
Tをはじめとするたばこ
産業が主張する室内での
分煙では、受動喫煙によ
る健康被害から非喫煙者
を守れないため、さまざま
な人が集まる職場や飲

日本学術会議はその要
望書の中で、「受動喫煙
がもたらす健康障害に関
しては、科学的根拠を持
っている。

今年になって大きな動
きが二つあった。その一
つは三月に日本学術会議

的施設での全面的な禁
る」と明言している。

河本 知秀（倉吉市津
原、鳥取県中部医師会喫
煙対策委員会委員、河本
医院院長）

私^の視点